展示室 1 イギリス人が見た明治の日本

郡山市立美術館では、イギリスと日本の近代美術を大きな柱にして、開館前から作品収集を続けています。また日英の美術交流を窺わせる作品は、重要な収集対象となっています。

こうした中から、今回は幕末から明治にかけて来日したイギリス人画家の作品をご紹介します。外国人の目がとらえた日本の風景や人々の暮らしは、当時の人々に新鮮な感銘を与えました。特に水彩画は、彼らの展覧会を見て水彩画家になるうと決意した三宅克己があらわれたように、日本国内に水彩画のブームが起きたほどでした。

また、イギリス近代美術の代表作及び今年度新たに収集した作品のコーナーをそれぞれ設け、当館の収集活動の一端をご覧ください。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
チャールズ・ワーグマン	西洋紳士スケッチの図	1870 代	油彩・スケッチボード
チャールズ・ワーグマン	ふたりの日本女性		水彩・紙
チャールズ・ワーグマン	座る日本女性		水彩・紙
チャールズ・ワーグマン	水汲み		水彩・紙
チャールズ・ワーグマン	物売り		水彩・紙
チャールズ・ワーグマン	若い女		水彩・紙
ジョン・ヴァーレー・ジュニア	日光の茶店	1890	油彩・板
ジョン・ヴァーレー・ジュニア	宮島の街並	1890	水彩・紙
ジョン・ヴァーレー・ジュニア	雪の京都、祇園へゆく道	1891	水彩・紙
ジョン・ヴァーレー・ジュニア	東京、麻布	1891	油彩・板
ジョン・ヴァーレー・ジュニア	赤羽、芝公園の一隅	1891	油彩・板
アルフレッド・ウィリアム・パーソンズ	箱根の秋		水彩・紙
アルフレッド・ウィリアム・パーソンズ	鎌倉の茶店		グワッシュ・紙
サー・アルフレッド・イースト	雨の湯本	1889	水彩・紙
サー・アルフレッド・イースト	荒れ模様	1889 頃	水彩・紙
サー・アルフレッド・イースト	雨後の傘干し	1889 頃	水彩・紙
サー・アルフレッド・イースト	村の茶店、箱根	1889 頃	水彩・紙
〈イギリス近代美術〉			
サー・ジョシュア・レイノルズ	エグリントン伯爵夫人、ジェーンの肖像	1777	油彩・キャンバス
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	カンバーランド州のコールダーブリッジ	1810	油彩・キャンバス
サー・エドワード・コッリー・バーン＝ジョーンズ	フローラ	1868-84	油彩・キャンバス
〈新収蔵品〉			
藤島武二	がくの花	1901(明治 34)	油彩・キャンバス
石橋和訓	男性裸像	1907(明治 40)	油彩・キャンバス
斎藤豊作	風景	1912(大正元) 頃	油彩・キャンバス
スタンリー・ウィリアム・ヘイター	戦闘	1953	エングレーヴィング、ソフトグランドエッチング、スコーパー・紙
スタンリー・ウィリアム・ヘイター	舟について	1957	エングレーヴィング・紙
スタンリー・ウィリアム・ヘイター	花火	1958	エッチング・紙
スタンリー・ウィリアム・ヘイター	緑陰	1963	エッチング、スクレイパー・紙
スタンリー・ウィリアム・ヘイター	クラドゥエーニュ	1972	エッチング、ソフトグランドエッチング・紙

展示室 2 描かれた日本の風景

豊かな自然に恵まれた日本は、一年を通して四季折々に彩られた風景を楽しむことができます。日本人は古くから身近な自然を愛で、描いてきました。

深みのある色で表現された油彩画、繊細な色の重なりやにじみ、紙の白さを活かした水彩画など、画家たちは様々な表現方法で風景を描きました。幕末にイギリスから日本にもたらされた水彩画は、明治期に本格的に普及し、多くの画家が試みるようになります。彼らは油彩や水彩による表現の可能性を追求し、それぞれの視点から風景を描き出しました。

自然や人々の暮らしと向き合う画家の眼が捉えた、日本の風景の数々をご覧ください。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
高橋由一	風景（鳥海山）	1880年代	油彩・キャンバス
野崎華年	富士	1907（明治40）	油彩・キャンバス
浅井 忠	収穫	1893（明治26）	油彩・紙、板
広瀬孝次	田園景色	1890（明治23）	油彩・キャンバス
和田英作	上総風景	1897（明治30）	油彩・キャンバス
諫山麗吉	神戸付近の風景		油彩・キャンバス
諫山麗吉	甲州猿橋		油彩・キャンバス
石川寅治	房総風景	1923-24（大正12-13）頃	油彩・キャンバス
高村真夫	風景	1903（明治36）	油彩・キャンバス
中川八郎	秋の河辺		水彩・紙
中川八郎	秋郊		水彩・紙
中川八郎	おぼろ月夜		水彩・紙
吉田 博	風景		水彩・紙
吉田 博	村里の子供たち（岩戸）		水彩・紙
石川欽一郎	信州の田舎		水彩・紙
五姓田芳柳（二世）	月の瀬・奥の谷		水彩・紙
五姓田芳柳（二世）	妙義山第一門		水彩・紙
河合新蔵	ノウゼンカズラのある宿場		水彩・紙
大下藤次郎	蓮池		水彩・紙
大下藤次郎	晩秋	1908（明治41）	水彩・紙
三宅克己	箱根		水彩・紙
南 薫造	瀬戸内海		水彩・紙

展示室3 郷土ゆかりの美術

郡山市は福島県の中央に位置し、経済活動の活発さから「経済県都」と呼ばれていますが、合唱、器楽、学校音楽などの芸術文化活動が盛んな地域であり、美術の領域においても、多くの美術家を輩出しています。

郡山市立美術館は「郷土ゆかりの美術」を収集の柱のひとつとして、これまでに郡山市とゆかりのある美術家の作品をコレクションしてきました。今回は、洋画、日本画、版画、彫刻等の様々な分野の作品を紹介します。郷土を代表する美術家たちの多彩な表現をご覧ください。

作者名	作品名	制作年	技法・材質	
安藤重春	レッスン	1977（昭和52）	岩絵具・紙	安藤重春氏寄贈
黒沢吉蔵	大和箸中	1980（昭和55）	岩絵具・紙	
青津清喜	枯れた花の静物	1951（昭和14）	油彩・パネル	
水田荘介	青衣の女	1964（昭和39）	油彩・キャンバス	
鎌田正蔵	ロボット家族（B）	1982（昭和57）	アクリル・キャンバス	
佐藤昭一	自分と石膏とマンダリンと壺	1948（昭和23）	油彩・キャンバス	佐藤昭一氏寄贈
芳賀忠行	虚構の風景-城	1974（昭和49）	油彩・キャンバス	
土橋 醇	村のコンポジション	1957（昭和32）	油彩・キャンバス	
岩谷 徹	能シリーズ 15-水	1990（平成2）	メゾチント・紙	
安部直人	Anonymous I	1995（平成7）	エッチング、メゾチント・紙	
三木宗策	威容抱慈（坂上田村麻呂像）	1924（大正13）	木	
佐藤静司	合掌	1986（昭和61）	木	
三坂耿一郎	女童（めわらべ）	1974（昭和49）	ブロンズ	

展示室4 版に描かれた「のりもの」

人々の移動手段に欠かせない「のりもの」は、近代以降に大きく発展を遂げました。風俗画や風景画のなかに描かれた「のりもの」は、人々のくらしぶりを伝えるだけでなく、異国への憧憬や新時代の象徴としても重要なモチーフとなっています。また、「のりもの」が備えているさまざまな造形要素も、芸術家たちの想像力を大いに刺激しました。今回は版画作品や本の挿絵を通じて、多彩に描かれた「のりもの」の世界をご覧ください。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
ポール・サンドビー	『ウェールズ 12 景』第 3 部より 西方、グラモーガン州カーディフ城門	1777 刊	エッチング、アクアチント・紙／ポートフォリオ
ジョン・コンスタブル	荒野（ヒース）	1831	メゾチント・紙
ジョン・コンスタブル	虹、ソールズベリー大聖堂	1834-7	メゾチント・紙
サミュエル・プラウト	サンギット船	1814	ソフトグラウンドエッチング・紙
コーネリウス・ヴァーレー	岸に引き上げられた漁猟用帆船	1809	エッチング・紙
エドワード・ウォズワース	『西地中海とアドレナ海の帆船と荷船』		ラインエングレーヴィング、手彩色・紙／本
松田緑山	東京佃島遠望商船入津川上蒸気出帆之図		エッチング・紙
福宮源治郎	東京上野公園之景	1885（明治 18）	リトグラフ、手彩色・紙
亀井竹二郎	『懐古東海道五十三驛真景』（徳永柳舟・町田信次郎作画、大山印刷所発行）のうち 「赤坂驛」、「箱根驛 湖畔舊閑眺望」、「蒲原驛 富士川」、「川崎驛 六合川眺望」	1891-92(明治 24-25)	リトグラフ・紙／ポートフォリオ
織田一磨	『都会生活』書窓版画帖十連聚其の一	1941（昭和 16）刊	木版・紙／本
川上澄生	『港都情景』書窓版画帖十連聚其の二	1941（昭和 16）刊	木版・紙／本
川西 英	『文明開化往来』書窓版画帖十連聚其の三	1941（昭和 16）刊	木版・紙／本
川上澄生	新装の九段坂	1929（昭和 4）	木版・紙
川上澄生	南蛮船図	1939（昭和 14）	木版・紙
吉田 博	神の島	1930（昭和 5）	木版・紙
ジェームズ・アボット・マクニール・ホイッスラー	自由貿易波止場	1877	エッチング・紙
フランク・ブランギン（画）・漆原木虫（刻）	『木版画集』より「ヴェニス 金色の朝 瑞西」		木版・紙
泉 茂	ヨット	1958（昭和 33）	リトグラフ・紙
クリストファー・リチャード・ウィン・ネヴィンソン	『航空機製作の六場面』より 4000 フィートでの旋回飛行		リトグラフ・紙
シリル・エドワード・パワー	エレベーター	1930	リノカット・紙
デイヴィッド・ジョーンズ	『チェスター劇「大洪水」』	1977 刊	木口木版・紙／本
柄澤 齊	『死と変容 I 夜』より ポート	1988（昭和 63）刊	木口木版・紙／ポートフォリオ

展示室 4 佐藤潤四郎 生誕 110 年

佐藤潤四郎は今から 110 年前の 1907(明治 40)年 9 月 26 日、郡山市清水台に生まれました。旧制安積中学校から東京美術学校工芸科鍛金部に入學し、金工家として活動したのちに、ガラス工芸家に転向、世界的に活躍しました。

潤四郎作品のデザインは、手に取りたくなるような親しみのある形が特徴です。“マッサン”こと竹鶴政孝の思いが込められたウイスキーボトル「スーパーニッカ」の手吹きボトルは、その代表と言えるでしょう。ユニークなオブジェや鍛鉄と組み合わせた花器、ガラス職人への敬愛から生まれたキャラクター「ガラスの神様」が象られた器など、ガラスという素材の多彩な魅力をお楽しみください。

作者名	作品名	制作年	技法・材質	
佐藤潤四郎	自画像と仏足跡	1984(昭和 59) 頃	墨・紙	佐藤久枝氏寄贈
佐藤潤四郎	スタンドグラス・仏足跡		ガラス・鉄	佐藤久枝氏寄贈
佐藤潤四郎	夜空にガラスを吹くガラスの神様		水彩、墨・布	佐藤久枝氏寄贈
佐藤潤四郎	窯場の朝（ルツボの中）		水彩・紙	佐藤久枝氏寄贈
佐藤潤四郎	オリンピックブルー硝子皿	1941(昭和 16) 頃	ガラス／宙吹	石井謙治氏寄贈
佐藤潤四郎	クリスタル花器		ガラス／宙吹	
佐藤潤四郎	ボウル（グリーン）		ガラス／宙吹	
佐藤潤四郎	花器・穴があいてちょっと考えた	1980-82(昭和 55-57) 頃	ガラス／宙吹・カット	
佐藤潤四郎	ブルー花器		ガラス／宙吹	
佐藤潤四郎	オブジェ・羊車	1980-82(昭和 55-57) 頃	ガラス／宙吹・プランツ	
佐藤潤四郎	オブジェ・これ以上芽の出ない世界	1980-82(昭和 55-57) 頃	ガラス／宙吹	
佐藤潤四郎	魚（オレンジ）	1973-76(昭和 48-51) 頃	ガラス／宙吹・カレット封入	
佐藤潤四郎	魚（ブルー）	1973-76(昭和 48-51) 頃	ガラス／宙吹・カレット封入	
佐藤潤四郎	花器（雲母入り）		ガラス／宙吹・雲母封入	

作者名	作品名	制作年	技法・材質	
佐藤潤四郎	花器 (カレット入り)		ガラス/宙吹・カレット封入	
佐藤潤四郎	植物文一輪挿し		ガラス/宙吹・グラヴェール	
佐藤潤四郎	花器・ちょっと考えて (樹)		ガラス/宙吹・グラヴェール	
佐藤潤四郎	置物・花	1954(昭和29)頃	ガラス/サンドブラスト	
佐藤潤四郎	花器 (カットグラス)	1986(昭和61)	ガラス/型吹・エッチング、カット	
佐藤潤四郎	ルーマー杯・大好きな形		ガラス/宙吹・プランツ	
佐藤潤四郎	ルーマー杯・なみなみのワインを		ガラス/宙吹・グラヴェール、プランツ	
佐藤潤四郎	葡萄文ワイングラス		ガラス/宙吹・グラヴェール	佐藤久枝氏寄贈
佐藤潤四郎	竹に雀文ワイングラス		ガラス/宙吹・グラヴェール、プランツ	佐藤久枝氏寄贈
佐藤潤四郎	タンブラー (スモークガラス) (2点組)			
佐藤潤四郎	『スーパーニッカ』手吹きボトル	1962(昭和37)頃	ガラス/宙吹	川崎清氏寄贈
佐藤潤四郎	ウィスキーボトル「インペリアル」		ガラス/機械生産	サントリー(株)提供
佐藤潤四郎	大杯・ワインを造る		ガラス/宙吹・グラヴェール、プランツ	
佐藤潤四郎	タンブラー		ガラス/型吹ほか	佐藤久枝氏寄贈
佐藤潤四郎	鍛鉄吹込花器 (顔)	1986(昭和61)	ガラス、鉄/鍛鉄吹込	
佐藤潤四郎	鍛鉄吹込花器・灯もつけて	1986(昭和61)	ガラス、鉄/鍛鉄吹込	
佐藤潤四郎	硝子の女神	1982(昭和57)	ガラスレリーフ	田淵十一氏寄贈
佐藤潤四郎	赤いガラスの神様		ガラスレリーフ	田淵十一氏寄贈
佐藤潤四郎	オブジェ・ガラスを吹く人		鍛鉄	
佐藤潤四郎	大杯・ガラスを吹く人	1986(昭和61)	ガラス/宙吹・グラヴェール、プランツ	
佐藤潤四郎	花器・馬車に乗るガラスの神様	1973-76(昭和48-51)頃	ガラス/宙吹・サンドブラスト	(株)ノリタケクリスタル寄贈
佐藤潤四郎	ガラス作業之図	1984(昭和59)頃	墨・紙/扁額	田淵十一氏寄贈
佐藤潤四郎	奈良・薬師寺西塔舎利器 (試作)	1978(昭和53)	ガラス/宙吹・グラヴェール	
佐藤潤四郎	舎利器		ガラス/宙吹・カレット融着	
佐藤潤四郎	奈良・薬師寺玄奘三蔵院舎利器 (控)No.1	1980(昭和55)	ガラス/宙吹・カット	
佐藤潤四郎	奈良・薬師寺玄奘三蔵院舎利器カバー (控)No.1		ガラス/宙吹・プランツ、雲母封入	
佐藤潤四郎	花器・仏足跡口ータス		ガラス/宙吹、サンドブラスト	佐藤久枝氏寄贈
佐藤潤四郎	オブジェ・仏足跡	1984(昭和59)頃	放射能遮蔽ガラス/サンドブラスト	佐藤久枝氏寄贈
佐藤潤四郎	陶板・天使		陶器	大方竜子氏寄贈
佐藤潤四郎	陶板・仏足跡1		陶器	大方竜子氏寄贈
佐藤潤四郎	陶板・仏足跡2		陶器	大方竜子氏寄贈
佐藤潤四郎	陶板・仏足跡と五輪塔		陶器	大方竜子氏寄贈
佐藤潤四郎	人面仏足跡2		水彩、墨・紙	佐藤久枝氏寄贈
佐藤潤四郎	仏足跡と三人のガラスの神様		水彩・紙	佐藤久枝氏寄贈
佐藤潤四郎	仏足跡にかくれるガラスの神様		水彩、墨・紙	佐藤久枝氏寄贈
佐藤潤四郎	仏足跡・吹きガラスで照らそう		水彩・布	佐藤久枝氏寄贈
佐藤潤四郎	スタンドグラス原画		墨、鉛筆・紙	佐藤久枝氏寄贈
佐藤潤四郎	ガラス工場外観2		墨・紙	佐藤久枝氏寄贈
佐藤潤四郎	窯をつくる1		墨・紙	佐藤久枝氏寄贈
佐藤潤四郎	窯場の風景5	1953(昭和28)	コンテ・紙	佐藤久枝氏寄贈

ロビー展示 彫刻・他

作者名	作品名	制作年	技法・材質	
●1階				
細川宗英	装飾古墳シリーズ9	1963(昭和38)	セメント	細川明子氏寄贈
笠置季男	躍進	1958(昭和33)	セメント	
アントニー・ゴームリー	量子雲 XXIII	2000	ステンレス・スチール棒	
アントニー・ゴームリー	領域 XIII	2000	ステンレス・スチール棒	
●2階展示ロビー				
柳原義達	女の首	1958(昭和33)	ブロンズ	
舟越保武	少女	1956(昭和31)	砂岩	
堀内正和	顔	1955(昭和30)	鉄、セメント	
木内 克	女の顔	1965(昭和40)	石膏、顔料	和田敏文氏寄贈
植木 茂	体		木	
佐藤潤四郎	陶器で仏足跡1		陶器	大方竜子氏寄贈
佐藤潤四郎	陶器で仏足跡2		陶器	大方竜子氏寄贈
佐藤潤四郎	石で仏足跡		石	大方竜子氏寄贈
●前庭				
バリー・フラナガン	野兎と鐘	1988	ブロンズ	